

東京ニューシティ管弦楽団

音楽監督・常任指揮者 内藤 彰
 アドミニストレイティブディレクター 渡部 中子
 ゲストコンサートマスター 西田 博
 コンサートマスター 藤田 めぐみ
 インスペクター 金岡 秀典、山川 奈緒子
 ライブラリアン 上村 雅英
 事務局 渡辺 晶子、鈴木 光子、多田 圭介



●—————Violins

◎西田 博
 ○上原 まさみ
 荒巻 泉
 犬飼 素子
 大津 千代子
 小澤 郁子
 小澤 薫
 海保 あけみ
 栗原 りか
 鈴木 順子
 鈴木 わらび
 綱木 郁
 富山 ゆりえ
 中川 さと子
 中村 朱見
 宮林 陽子

室井 美子

山江 洋子
 山川 奈緒子
 山本 佳子
 吉井 孝子

●—————Violas

○桜井 多美子
 安達 いづみ
 宇佐美 久恵
 久郷 寿実子
 堀江 冬子
 松田 美奈子
 光行 澄子

●—————Violoncellos

○齋藤 章一
 大島 純
 葛西 英一

鈴木 和生

富成 倫子
 橋本しのぶ
 松 穰
 横森 徹

●—————Doublebasses

○河原田 潤
 青山 幸成
 金子 敦子
 徳高 宏行
 星野 勝彦

●—————Flutes

井ノ上 洋
 内山 豊美
 徳田 振作
 井上 恵子

●—————Oboes

●—————Clarinets

西尾 郁子
 松元 香

●—————Bassoons

藤田 旬
 齋藤 美和子

●—————Horns

小川 正毅
 小林 祐治
 松浦 光男
 広川 実

●—————Trumpets

中西 清一
 染谷 始

●—————Timpani

堀尾 尚男

●—————Stage manager

上村 雅英

東京ニューシティ管弦楽団

第21回定期演奏会

東京ニューシティ管弦楽団事務局

ホームページ <http://www2.plala.or.jp/newcity/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-31-13 ライオンズマンション東池袋第3-805 TEL:03-5952-7617 FAX:03-5952-7618



音楽界のサポーター

より良いコンサートのために……。

アイ・エム・エス ● 楽器リース ● 保管 ● 移動 ● ステージ・スタッフ派遣

〒167-0043 東京都杉並区上荻2-3-4 ゆうでんビル1F PHONE.03-3397-2292 FAX.03-3397-7728

URL <http://www.jade.dti.ne.jp/~ims> E-mail ims@jade.dti.ne.jp

2001年7月14日(土)

午後6時開演

北とぴあ さくらホール

■主催 東京ニューシティ管弦楽団

■共催 (財)北区文化振興財団

〈本日のロビーコンサート〉

ベートーヴェン

モーツァルトの歌劇「ドン・ジョバンニ」のアリア

「お手をどうぞ」の主題による変奏曲 (Ob. Cl. Fg.)

program

ベートーヴェン●「コリオラン」序曲(ヘレン版)

ベートーヴェン●ヴァイオリン協奏曲ニ長調作品61(ヘレン版)

INTERMISSION

ベートーヴェン●交響曲第3番変ホ長調作品55「英雄」(ベーレンライター版)



ベートーヴェン(1770~1827)

「コリオラン」序曲(ヘレン版)

これぞベートーヴェンという雄渾な響きで、聴き応えたっぷりのベートーヴェン・プログラムの幕が上がります。この序曲はハ短調、アレグロ・コン・ブリオで書かれています(交響曲第5番の第1楽章もそうです)。ベートーヴェンが強い意志表明をするときに採用される調性であり、イタリア語の速度表示ですね。ちなみに、今宵のメインを飾る「英雄」は変ホ長調(第2楽章の葬送行進曲のみハ短調)ですが、第1楽章の表示はアレグロ・コン・ブリオ。というわけで、なかなか心憎いプログラミングといえるでしょう。

コリオランとは、古代ローマの悲劇の英雄コリオラヌスのドイツ語読みです。政治上の衝突でローマを追放されたコリオラヌスは、隣国の将軍に迎えられローマに攻め入ろうとします。が、母親と妻にいさめられ、再びローマ側につこうとします。とその時、陰謀に巻き込まれ殺されてしまうのです……。ハインリヒ・ヨーゼフ・コリン(1771~1811)というウィーンの宮廷詩人が、このコリオラヌスの英雄物語に基づく戯曲(劇の台本)「コリオラン」を1802年に

執筆、これに感銘を受けたベートーヴェンは1807年に同名のコンサート用序曲を作曲しました。曲は同年3月、ウィーンのロブコヴィツ邸で初演され、コリンに捧げられています。

弦楽器群のユニゾン(斉奏)によるフォルティッシモと、トゥッティ(全奏)の歯切れよい応答は、この作曲家ならではの書法。悲劇的かつ緊張感に満ちた響きが繰り出されます。一方、第1ヴァイオリンが紡ぐ優美な第2主題は、コリオランの反逆をいさめる女性たちでしょうか。雄大なスケールを誇るコーダ(終結部)、そしてハ音のピツィカートで静かに閉じられるまで、ドラマ満載の序曲をお楽しみ下さい。

「コリオラン」序曲とヴァイオリン協奏曲は、近年刊行されたヘレン版楽譜での演奏です。従来の楽譜との相違点はささやかなものですが、指揮者や演奏家から見た場合、楽譜上の矛盾や疑問点がいくつか解決されているということです。



リアナ・イッサカーゼ(ヴァイオリン) Liana Issakadze

グルジア共和国、トビリシ生まれ。ヴァイオリニスト、指揮者。トビリシ音楽院附属音楽学校入学。10歳にてダビッド=オISTRAフに見出され、モスクワ中央音楽学校へ編入。全ロシアコンクール第1位。

14歳のとき、2才年齢が満たないにもかかわらず、特別参加を許され、全ソヴァイオリンコンクールに参加して第1位獲得。モスクワ音楽院入学。在学中にロン・ティボー国際コンクール第1位。ソビエトを代表する国際的ヴァイオリニストとなる。同校卒業後、D=オISTRAフの後任として後進の指導に勤しむかわら、チャイコフスキー国際コンクール第2位、シベリウス国際コンクール第1位などを獲得。

その後グルジア共和国立室内管弦楽団の芸術監督また、モスクワ、グルジア、ドイツにおける音楽祭のプロデュースをつとめる。

90年より、ドイツに移住。ヨーロッパで演奏活動に専念している。D=オISTRAフに師事。1998年、第11回チャイコフスキー国際コンクール・ヴァイオリン部門審査委員長をつとめる。旧ソ連邦人民芸術家。収録CDは120枚ちかくも出ている。

- 全ソヴァイオリンコンクール第1位
- ロン・ティボー国際コンクール第1位(1965)
- チャイコフスキー国際コンクール第2位(1970)
- シベリウス国際コンクール第1位(1970)
- チャイコフスキー国際コンクール/ロン・ティボー国際コンクール/ミュンヘン国際コンクール/ヴァイオリン部門審査委員長



東京ニューシティ管弦楽団 Tokyo New City Orchestra

東京ニューシティ管弦楽団は、1990年、音楽監督、常任指揮者に内藤彰を擁し設立された。定期演奏会の他、名曲コンサート、協奏曲・オペラ・バレエの伴奏、レコーディングなど幅広く活躍。

特にオペラ分野では評価が高く、二期会、藤原歌劇団の他、レナータ・スコット、アルフレード・クラウス、ヘルマン・プライ、カーティア・リッチャレリ、マリエツァ・デビエラ、マリア・キアラ、渡辺葉子等世界で活躍するオペラ歌手との共演も多く、聴衆や批評家のみならず、世界の一流オーケストラと共演している彼らからも、絶讃の言葉を贈られた。

バレエでは、国内のバレエ団の他、英国バーミンガムロイヤルバレエ団、ロシア国立レニングラードバレエ団等海外からのバレエ団の日本公演でも大変高い評価を得ており、今後も内外のバレエ団の公演がめじろ押しである。

また、桂三枝、三枝成彰、ケント・ギルバート、マリ・クリスティーン等を迎えてのファミリーコンサートも、大変評判が良く、多くの方から親しまれている。

メンバー個人個人の實力はもちろん、それぞれの温かい人間性も共演の指揮者、ソリストから大変高い評価を得ている。また、メンバーによる室内楽の活動も大変盛んで、特に、ニューシティウインドアンサンブルは福祉施設や医療施設での訪問演奏を行うなど、ボランティア活動にも積極的に取り組んでおり、こうした幅の広い活動が各界より好評をもって迎えられている。一切の無駄を省いた新しいオーケストラの運営方針もユニークな発展を見せており、近年その活動が各方面から注目されている。

2000年度より定期演奏会を年間5回に増やし、東京第9番目のオーケストラとして今後の活躍が益々期待されている。



内藤 彰(指揮) Akira Naito

名古屋大学理学部卒業。在学中より指揮を山田一雄氏に師事する。桐朋学園大学研究科(指揮専攻)にて、小澤征爾氏、秋山和慶氏、尾高忠明氏他に師事し、修了後、(社)山形交響楽団の専属指揮者を3年間務める。

これまでに新日本フィル、東フィル、東響、新星日響、シティ・フィル、九響、名フィル他、日本の多くの主要オーケストラを指揮してきた。シンフォニーはもちろん、オペラ・バレエの分野でも、その音楽性とテクニックは聴衆の心からの共感と、共演者の絶大な信頼を得ている。

海外では、1991年旧ユーゴスラヴィアを代表するベオグラードフィルハーモニーを指揮し好評を博した。また、1992年には、モスクワ音楽院大ホールにて、モスクワ交響楽団を指揮し、最初のステージから満員の聴衆の5度のカーテンコールを受け、多くの楽員たちからもロシア音楽の魂を日本人から教えられたと絶賛された。1996年5月には、ロシアの国立ヴァロニシュ歌劇場にて、「セビリアの理髪師」を指揮し、絶大な賞讃を受けた。1997年5月には、ベラルーシ国立歌劇場にて「蝶々夫人」を指揮し、その成功により、今後も同歌劇場から定期的な客演が要請されている。本年3月セント・ペテルズブルグ・カペラ交響楽団に客演し、その模様は新聞、テレビ等で大きく取り上げられ話題を呼んだ。現在、東京ニューシティ管弦楽団、及び、プロ混声合唱団「東京合唱協会」音楽監督、常任指揮者。日本指揮者協会幹事。ロシア国内外での指揮、実績を評価され、今秋よりロシア国立ウリヤノフスクフィルハーモニー首席客演指揮者に就任。